

水道上下 携帯端末で監視

小松電機 迅速な復旧可能に

シート式シャッターなどを製造する小松電機産業（松江市、小松昭夫社長）は、「iPhone（アイフォン）」などの高機能携帯電話を使って遠隔管理できる上下水道監視装置を開発した。異常時にメールで知らせを受け、端末で流量などを操作、迅速に復旧作業ができる。

開発したのは監視装置「やくも水神」の「Gシ

リーズ」。2000年に販売を始めたやくも水神はマンホールポンプや水門など上下水道の設備機器に取り付けて24時間、監視・操作できる装置。現在、全国190市町村の約4600施設が同装置を使っているが、Gシリーズの投入で、3年後に導入施設を約3倍に増やす方針だ。

今回、プログラミング言語「Ruby（ルビー）」を用いてシステムを改良。米アップル社のアイフォンや多機能携帯端末「iPad（アイパッド）」、グーグルのオープン型OS「アンドロイド」搭載の高機能携帯電話から遠隔監視できるようにした。

した携帯電話などからその場で作業できる。やくも水神は、ネットを通じてサービスを提供する「クラウドコンピューティング」技術を使うため、従来の中央制御方式に比べ自治体の費用を半分に抑えられるという。同社によると、全国の市町村の上下水道監視装置のうち約1割は同社製品で3年後に3割に高める方針。7月にはソウルに事務所を設け海外展開も検討する。